

北海道 TDM 研究会・第 39 回ワークショップ

今回、北海道 TDM 研究会では『PC ソフトウェアを用いた実践的 TDM 症例解析』と題して、日常の TDM 業務の中で使用されている様々な PC ソフトウェアの選択・使用から解析結果の評価について、具体的な症例を通して勉強するワークショップを企画いたしました。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時： 平成 25 年 8 月 31 日（土）15 時 00 分～17 時 00 分

会場： 北海道薬科大学サテライトキャンパス（札幌市中央区北 3 条東 1 丁目 1-1）

座長： 北海道 TDM 研究会 副会長 小林 道也

メインテーマ『PC ソフトウェアを用いた実践的 TDM 症例解析』

第一部：『適切なソフトウェアの選択と使用、および解析結果の評価』

TDM 解析の対象となる患者さんに対して適当なソフトウェアを選択し、適切に使用する事は当たり前の事ですが、しかし現場で確実に実施されているかどうかは不明です。実際に解析ソフトウェアの選択による解析結果の違いと、その異なった結果の解釈で、投与設計にどのように影響してくるのかを解説します。

第二部：『特殊状況下における PC ソフトウェアでの解析例とその限界』

薬物動態に影響する特殊な状況には、年齢、腎機能障害、併用薬の存在などが考えられるが、PC ソフトウェアを使って解析できると判断する条件はどんな点が考えられるか。またその限界として PC ソフトウェアでの解析を諦めなければならない場合の解析方法はどうすれば良いのか。

講師： 日本医科大学武蔵小杉病院 薬剤部 渋谷 正則 先生

※ 日本薬剤師研修センター認定シール（1 単位）の配布を予定しております

※ 日本病院薬剤師会生涯認定制度単位（2）1 単位の認定対象です

〈案内図〉



地下鉄東豊線さっぽろ駅 21 番出口より徒歩 3 分
地下鉄南北線さっぽろ駅 9 番出口より徒歩 6 分
JR 札幌駅南口より徒歩 10 分

主催：北海道 TDM 研究会、
日本薬学会北海道支部
後援：北海道病院薬剤師会、
札幌病院薬剤師会

【問い合わせ先】

北海道医療大学病院 薬剤部 岩尾 一生
TEL 011-778-7575
iwao@hoku-iryo-u.ac.jp

中村記念南病院 薬剤部 山田 和範
TEL 011-573-8555
k-yamada@nmh.or.jp